



インドネシア・ジャカルタに駐在員事務所を開設しました

第24期 2004.2.21～2005.2.20

# 事業報告書

## おかげさまで株式公開以来 11期連続増収増益を 達成することができました

代表取締役社長  
森 美樹



株主の皆さまには、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

第24期事業報告書をお届けするにあたり、日頃のご支援に対し心より感謝申し上げます。

### 当期の業績

当期は、ポイント制度の拡充やカード盗難保障料の無料化をはじめとするお客さまの声を活かしたサービスの提供に継続して取り組むとともに、会員募集強化及びカード発行プロセスの改善によるカード会員の拡大に継続して取り組みました。

また、保険代理店事業、サービサー事業、小口ローン事業等を展開しております国内子会社におきましては、当社の営業活動との相乗効果を活かすとともに、各分野での新たな市場開拓に取り組みました。

さらに、アジアで展開しております海外子会社におきましては、各国ともに積極的な営業展開に取り組むとともに、インドネシアのジャカルタに駐在員事務所を開設するなど、アジアでの事業を着実に拡大させることができました。

これらの結果、当期の連結業績は、取扱高1兆8,849億9百万円（前期比15.0%増）、営業収益1,228億10百万円（同12.3%増）営業利益349億69百万円（同14.6%増）、経常利益350億84百万円（同14.9%増）、当期純利益186億83百万円（同15.5%増）と、会社設立以来の最高益を更新し、増収増益を継続することができました。

### 来期に向けて

当社の属するクレジット業界は、有力企業、新興IT企業の新規参入や、大手銀行グループのリテール戦略強化に伴う業界再編などにより、競争は激しさを増しております。一方で、銀行、証券、保険等、金融分野における幅広い規制緩和により、さまざまな金融事業を展開する好機であると考えられます。

さらに、当社が事業展開しておりますアジア各国は、高い経済成長を背景に、リテール金融の次代を担う成長市場であると考えております。

2005年2月期 決算ハイライト

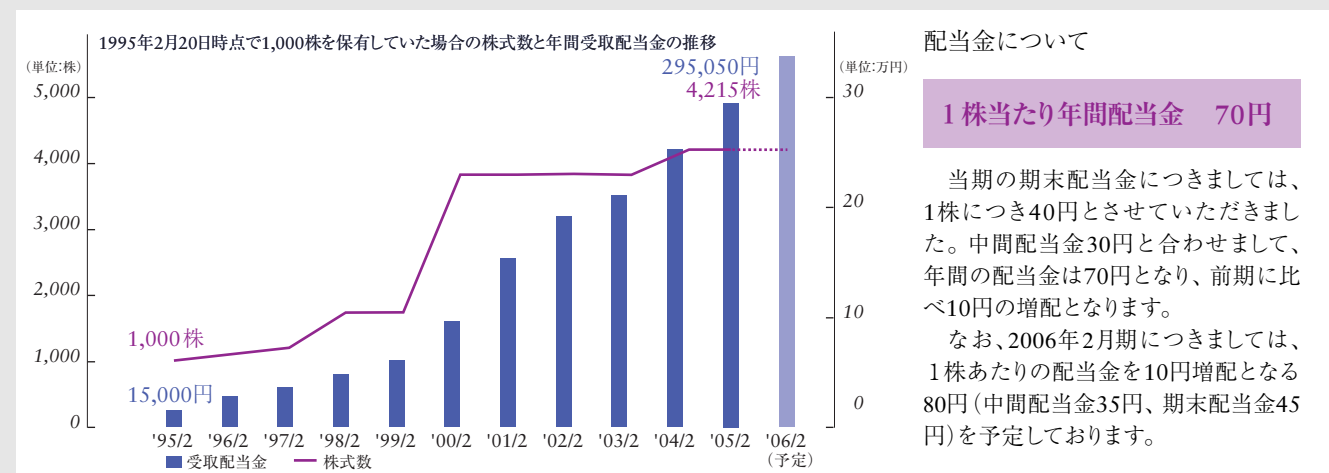
(単位：百万円)

	連結		単独	
	当期	前期比	当期	前期比
取扱高	1,884,909	15.0%増	1,695,840	14.0%増
営業収益	122,810	12.3%増	94,682	14.0%増
経常利益	35,084	14.9%増	29,249	11.9%増
当期純利益	18,683	15.5%増	16,904	13.7%増
1株当たり当期純利益	356円	48円増	322円	39円増

このような環境の中で、経営の基本方針及び中期ビジョンを実現するために、「カード会員を核とした金融サービス事業への挑戦」、「アジア事業の更なる強化」、「クレジットカード事業の質的転換」、「経営体質の強化」、「CSRへの取り組み強化」を重点戦略として取り組んでまいります。

今後とも株主の皆さまのご期待に沿えるよう、より一層のサービス向上に取り組んでいく所存でございますので、何卒変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2005年5月



私たちはお客さまへの限りない貢献を永遠の使命として、成長を続けてまいりました

## 成長の軌跡

イオンクレジットサービスは、おかげさまで株式公開より11期連続増収増益を継続することができました。

これからも“お客さまの未来と信用を活かす生活応援企業”として、生活に密着した金融サービスの提供に努め、皆さまの期待と信頼にこたえる企業を目指してまいります。





## お客さま満足度向上への取り組み

当期は、「ときめきポイント5倍デー」をはじめとしたポイント制度の拡充に取り組むとともに、「カード盗難保障料の無料化」や、ゴールドカードの特典強化など、お客さまの声を活かしたサービスの提供に継続して取り組みました。

また、毎月のお支払が発生する加盟店の開発につきましては、新たに中部電力(株)や中国電力(株)などと契約することができました。

これらの取り組みにより、年間稼働会員数は77万人増の717万人(前期比12.0%増)となるとともに、カードショッピング取扱高は1兆754億73百万円(前期比20.0%増)とカード業界平均を大幅に上回る伸びを継続させることが出来ました。





## 会員募集及びカード発行プロセスの改善

提携先店舗やインターネットでの会員募集に加え、カード券面にメジャーリーガーをデザインした「イオン(MLB)カード」の発行や、趣味嗜好を切り口としたアフィリエイトカードなど6種類の提携カードを新たに発行いたしました。

また、自動審査率の向上や、カード発行期間を更に短縮化させるため、キャッシュカードで口座設定が可能になる「INFOX端末」500台の導入など、カード発行プロセスの改善に取り組みました。

これらの結果、当期末のカード会員数は1,290万人(前期比6.6%増)となりました。

## 新たな決済機能の開発

シネマコンプレックスを展開するイオンシネマズ(株)と共同で、二次元コードを活用したチケットレス入場システム「楽々チケット」を開発いたしました。

また、小売業と卸売業者間の代金決済を早期化する「BtoB決済サービス」の提供を開始しました。

## 次世代システムの開発

グループのPOS情報と会員情報を融合させる「大規模データウェアハウス」や、地震などの広域災害に対応する「オーソリシステムの2センター化」の構築に取り組むとともに、収益性予測モデルを組み合わせた「戦略的与信システム」の開発に着手いたしました。



## 国内子会社の取り組み

保険代理店事業を展開するエヌ・シー・エス興産(株)では、国内初となるウェブサイトを活用した証券仲介業を開始いたしました。また、サービサー事業を展開するエー・シー・エス債権管理回収(株)では、小口債権の回収業務の受託先企業を拡大させる等、業容を拡大させることができました。



## アジア事業の拡大

### 香港 - AEON CREDIT SERVICE (ASIA) CO., LTD. -

香港域内で広く普及している交通系電子マネー「オクトパス」との提携、中国のカード決済ネットワーク「中国銀（China UnionPay）」との提携によるCD・ATMネットワークの拡大など、カード利便性の向上に取り組みました。また4種類の提携カードを新たに発行するとともに、会員募集を強化した結果、カード会員数は79万人になりました。

### タイ - AEON THANA SINSAP (THAILAND) PLC. -

新規提携カードの発行やファミリーマート店頭での会員募集を強化した結果、カード会員数は132万人となりました。また、タイ携帯電話業界第2位のDTAC社と提携したプリペイド式携帯電話料金のクレジットチャージサービスを開始しました。さらに、経済成長に伴う保険契約需要を取り込むため「ACS INSURANCE BROKER (THAILAND) CO., LTD.(保険代理店)」を設立いたしました。

### マレーシア - AEON CREDIT SERVICE (M) SDN. BHD. -

マレーシアの外資系ノンバンクとしてはじめてクレジットカード発行ライセンスを取得し、クレジットカード発行に向け準備を進めております。また国営貯蓄銀行のバンク・シンパナン・ナショナルと提携した預金証書担保型ハイパーパーティチェスの取り扱いを開始しました。さらに、クレジットニーズの高いモーターバイクのハイパーパーティチェスの拡大に取り組みました。



### 台湾 - AEON CREDIT SERVICE (TAIWAN) CO., LTD. - - AEON CREDIT CARD (TAIWAN) CO., LTD. -

クレジットカード事業では新たに6種類の提携カードを発行し、カード会員数は6万人となりました。また、ハイパーパーティチェス事業では加盟店ネットワークを2,700店舗に拡大するとともに、加盟店との共同企画にも積極的に取り組み、単年度黒字化を引き続き達成いたしました。

### 中国 - AEON INFORMATION SERVICE (SHENZHEN) CO., LTD. -

審査代行、債権回収代行、コールセンター代行の各種業務の強化に取り組みとともに、新たに中国・広州市に支店を設置し、中国本土でのクレジットビジネス開始に向けた体制の整備を推進しております。

### インドネシア - ジャカルタ駐在員事務所 -

新たにインドネシアのジャカルタに駐在員事務所を開設し、クレジットビジネス開始に向けた準備を進めております。





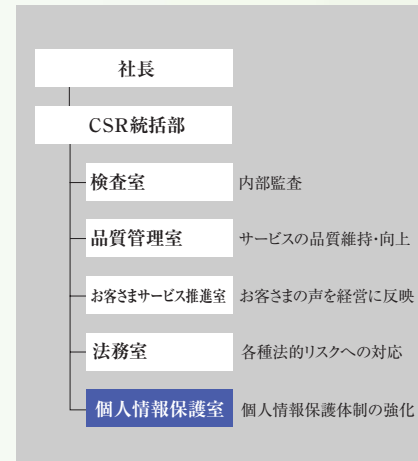
お客様の個人情報を取り扱う事務集中センターには、セキュリティゲートを設置しています

## CSR(企業の社会的責任)への取り組み

当社では社長直轄のCSR統括部を置き、その下に検査室、品質管理室、お客さまサービス推進室、法務室を設置し、さまざまな角度から社会的責任を重視した取り組みを実施しています。

### 個人情報保護体制

社長を委員長とする「個人情報安全管理委員会」を定期的で開催し、対策の提案、評価、見直しに継続的に取り組むとともに、全国の事業所長を「個人情報安全管理者」に任命し、全従業員に教育・研修を実施し、個人情報保護に対する意識の向上と規定遵守の徹底を図っております。



### 情報セキュリティ対策

端末起動時にICカードと生体認証を要求するダブルログインシステムを導入し、アクセス権限者の個人認証の徹底を行っています。また、ネットワーク上の端末や情報機器の不正な接続、管理者の不正なアクセスを監視する「SWAT」システムを導入するなど、高レベルの個人情報保護体制の構築に取り組んでいます。これらの結果、「品質ISO9001」「プライバシーマーク」に続き、「情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)適合性評価制度」の認証を取得しました。



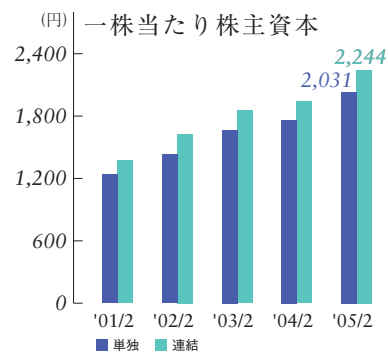
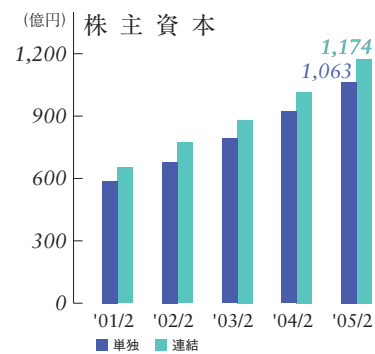
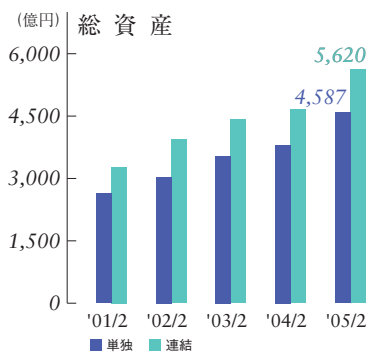
### 環境保全、社会貢献活動

当社では、チャリティ機能付カードや「ときめきポイント」による寄附活動を通じて、全国の森林保護、自然環境保全活動を実施しています。また、従業員によるボランティア活動の推進、「ときめきポイント」を通じた日本点字図書館への点字図書、テープ図書の寄贈、カンボジアでの学校建設支援等に積極的に取り組みました。

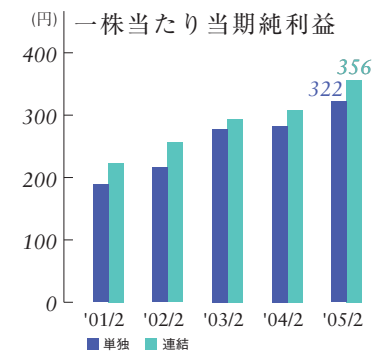


連結財務諸表の概要

連結貸借対照表		(単位：百万円)	
資産の部	前連結会計年度 (2004年2月20日現在)	当連結会計年度 (2005年2月20日現在)	負債の部
<b>流動資産</b>	446,820	539,219	<b>流動負債</b>
現金及び預金	15,999	16,688	買掛金
割賦売掛金	117,803	158,008	短期借入金
営業貸付金	304,293	355,041	1年以内返済予定の長期借入金
立替金	4,265	8,733	1年以内償還予定の社債
前渡金	1,308	—	コマーシャル・ペーパー
前払費用	502	957	その他
繰延税金資産	3,388	5,257	<b>固定負債</b>
未収入金	6,872	7,357	社債
未収収益	5,035	5,307	長期借入金
その他	1,818	2,215	その他
貸倒引当金	△ 14,467	△ 20,349	<b>負債合計</b>
<b>固定資産</b>	18,898	22,874	353,836
有形固定資産	5,454	5,404	<b>少数株主持分</b>
無形固定資産	2,588	4,801	少数株主持分
投資その他の資産	10,855	12,669	10,188
<b>資産合計</b>	465,719	562,094	<b>資本の部</b>
			資本金
			資本剰余金
			利益剰余金
			その他有価証券評価差額金
			為替換算調整勘定
			自己株式
			資本合計
			負債、少数株主持分及び資本合計



連結損益計算書		(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (2003年2月21日から 2004年2月20日まで)	当連結会計年度 (2004年2月21日から 2005年2月20日まで)	
<b>営業収益</b>	109,389	122,810	
総合あっせん収益	21,005	25,559	
個品あっせん収益	6,422	6,063	
融資収益	72,958	83,967	
融資代行収益	3,128	2,734	
その他収益	5,874	4,485	
<b>営業費用</b>	78,886	87,840	
<b>営業利益</b>	30,502	34,969	
<b>営業外収益</b>	153	258	
<b>営業外費用</b>	118	144	
<b>経常利益</b>	30,537	35,084	
<b>特別利益</b>	108	—	
<b>特別損失</b>	354	217	
<b>税金等調整前当期純利益</b>	30,292	34,866	
法人税等	12,266	13,800	
少数株主利益	1,846	2,382	
<b>当期純利益</b>	16,179	18,683	



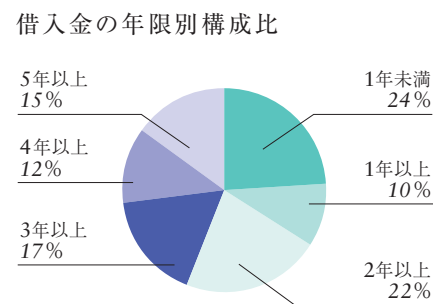
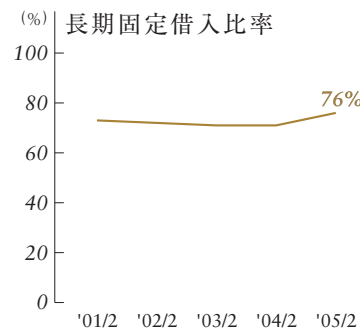
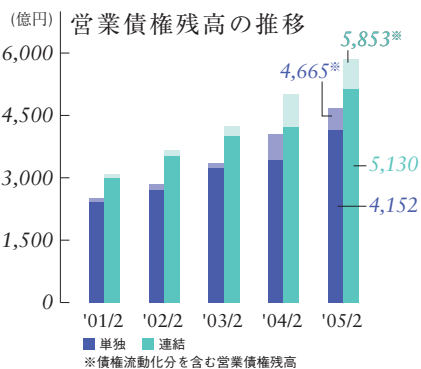
連結剰余金計算書		(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (2003年2月21日から 2004年2月20日まで)	当連結会計年度 (2004年2月21日から 2005年2月20日まで)	
<b>資本剰余金の部</b>			
資本剰余金期首残高	17,046	17,046	
資本剰余金増加高	0	2	
自己株式処分差益	0	2	
資本剰余金期末残高	17,046	17,049	
<b>利益剰余金の部</b>			
利益剰余金期首残高	54,075	67,463	
利益剰余金増加高	16,179	18,683	
当期純利益	16,179	18,683	
利益剰余金減少高	2,791	3,454	
配当金	2,734	3,400	
役員賞与金	56	54	
利益剰余金期末残高	67,463	82,692	

連結キャッシュ・フロー計算書		(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (2003年2月21日から 2004年2月20日まで)	当連結会計年度 (2004年2月21日から 2005年2月20日まで)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,390	△ 68,668	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,193	△ 5,822	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,887	75,273	
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 271	△ 16	
現金及び現金同等物の増加額	1,037	765	
現金及び現金同等物の期首残高	14,882	15,919	
現金及び現金同等物の期末残高	15,919	16,685	



単独財務諸表の概要

単独貸借対照表		(単位：百万円)	
資産の部	第23期 (2004年2月20日現在)	第24期 (2005年2月20日現在)	負債の部
流動資産	361,559	436,767	流動負債
現金及び預金	11,613	12,500	買掛金
割賦売掛金	84,882	117,145	短期借入金
営業貸付金	257,164	298,064	1年以内返済予定の長期借入金
立替金	4,324	8,797	コマーシャル・ペーパー
前渡金	1,308	—	その他
前払費用	263	722	固定負債
繰延税金資産	3,200	5,008	社債
未収入金	5,789	6,507	長期借入金
未収収益	3,451	3,701	その他
その他	145	530	負債合計
貸倒引当金	△ 10,584	△ 16,211	
固定資産	18,904	22,030	資本の部
有形固定資産	3,074	2,715	資本金
無形固定資産	1,706	3,344	資本剰余金
投資その他の資産	14,123	15,970	利益剰余金
資産合計	380,463	458,797	その他有価証券評価差額金
			自己株式
			資本合計
			負債及び資本合計



単独損益計算書		(単位：百万円)	
	第23期 (2003年2月21日から 2004年2月20日まで)	第24期 (2004年2月21日から 2005年2月20日まで)	
営業収益	83,090	94,682	
総合あっせん収益	18,107	22,256	
個品あっせん収益	26	19	
融資収益	58,061	67,109	
融資代行収益	3,137	2,745	
その他収益	3,757	2,551	
営業費用	57,557	66,100	
営業利益	25,533	28,582	
営業外収益	711	791	
営業外費用	103	123	
経常利益	26,141	29,249	
特別損失	320	216	
税引前当期純利益	25,820	29,032	
法人税等	10,949	12,128	
当期純利益	14,870	16,904	

利益処分計算書		(単位：百万円)	
	第23期 株主総会承認日 (2004年3月12日)	第24期 株主総会承認日 (2005年3月12日)	
前期繰越利益	9,833	11,539	
当期純利益	14,870	16,904	
中間配当額	1,307	1,569	
当期末処分利益	23,396	26,874	
特別償却準備金取崩高	21	21	
配当金	1,830	2,092	
役員賞与金	46	48	
特別償却準備金	2	—	
別途積立金	10,000	12,000	
次期繰越利益	11,539	12,755	

**単独損益計算書の概要**

**営業収益**  
946億82百万円 (前期比14.0%増)

**総合あっせん収益**  
222億56百万円 (前期比22.9%増)  
「ときめきポイント5倍デー」をはじめとしたポイント制度の拡充や、カード盗難保障料の無料化により、過去1年間にカードをご利用いただいた会員数を77万人増の717万人に増加させることができました。この結果、カードショッピング取扱高を前期比20.0%増の1兆754億73百万円に拡大させることができました。

**融資収益**  
671億9百万円 (前期比15.6%増)  
カード会員数を順調に増加させるとともに、充実したCD・ATMネットワークの活用により、カードキャッシング取扱高を前期比11.9%増の4,152億94百万円と増加させることができました。

## 会社データ

(2005年2月20日現在)

■ 商号	イオンクレジットサービス株式会社
■ 上場証券取引所	東京証券取引所市場第1部 (証券コード: 8570)
■ 本店	東京都千代田区神田錦町一丁目1番地
■ 電話番号	(03) 5281-2030 (代表)
■ URL	<a href="http://www.aeoncredit.co.jp/">http://www.aeoncredit.co.jp/</a>
■ 設立	1981年6月20日
■ 資本金	154億6,650万円
■ 従業員数	3,159人(連結) 751人(単独)

(2005年5月12日現在)

■ 取締役および監査役	
代表取締役社長	森 美 樹
専 務 取 締 役	神 谷 和 秀
常 務 取 締 役	斉 藤 達 也
常 務 取 締 役	清 永 崇 司
取 締 役	河 田 和 彦
取 締 役	上 山 政 道
取 締 役	近 藤 安 彦
取 締 役	高 野 清 昭
取 締 役	葛 西 謙
取 締 役	山 田 義 隆
取 締 役	古 谷 寛
常 勤 監 査 役	谷 内 寿 照
監 査 役	木 村 洋 一
監 査 役	杉 原 弘 泰
監 査 役	人 見 信 男

ホームページのご案内 <http://www.aeoncredit.co.jp/aeon/>

「会社情報・IR情報」のホームページでは、最新のニュースリリースやカード取扱高の月次情報等をタイムリーに掲載するとともに、各種財務諸表や、当社の業績を一目でご理解いただけるよう財務データのハイライトを設けております。

これからも、株主の皆さまに当社の経営活動へのご理解をより深めていただけるよう、ホームページでの情報開示に積極的に取り組んでまいります。



## 株主情報

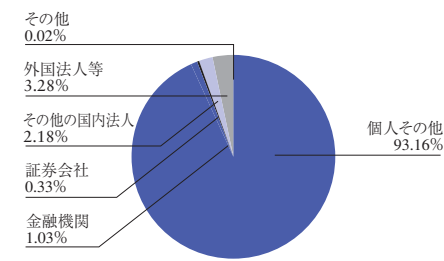
(2005年2月20日現在)

■ 株主数	8,399名
■ 会社が発行する株式の総数	180,000,000株
■ 発行済株式総数	52,322,336株

### ■ 大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)	
イオン株式会社	23,604	45.11	
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,309	8.24	
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,213	8.05	
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託B口)	968	1.85	
マックスバリュ西日本株式会社	882	1.69	
ミニストップ株式会社	763	1.46	
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	692	1.32	
野村證券株式会社	595	1.14	
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	505103	580	1.11
株式会社コックス	447	0.86	

### ■ 所有者別株主数の構成比 (8,399名)



## 株主メモ

- 決算期 毎年2月20日
- 定時株主総会 毎年5月20日までに実施
- 名義書換代理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社  
本店証券代行部
- お問い合わせ先 〒135-8722  
東京都江東区佐賀一丁目17番7号  
郵便物送付先  
みずほ信託銀行株式会社  
証券代行部  
電話(03) 5213-5213 (代表)
- 同取次所 みずほ信託銀行株式会社  
全国各支店  
みずほインベスターズ証券株式会社  
本店および全国各支店
- 1単元の株式の数 100株
- 公告掲載新聞 日本経済新聞
- 決算公告のホームページのご案内  
当社の決算公告は、第22期より日本経済新聞による決算公告に代えて、貸借対照表および損益計算書を当社のホームページ (<http://www.aeoncredit.co.jp/>) に掲載することといたしましたので、こちらでご覧いただけます。

当期におきましては、当社株式の分布状況の改善及び流動性向上を目的に、株式の売出しを実施し、投資家層の拡大に努めました。



# イオンクレジットサービス株式会社



ISO9001  
ISO14001  
ISMS認証取得



JQA-QM7708  
JQA-EM1689  
JQA-IM0178